

基本計画書

基本計画									
事項	記入欄						備考		
計画の区分	研究科の専攻の課程変更								
フリガナ設置者	ガッコウホウジン ドウシシャ 学校法人 同志社								
フリガナ大学の名称	ドウシシャダイガクダイガクイン 同志社大学大学院 【Doshisha Graduate School】								
大学本部の位置	京都市上京区今出川通烏丸東入玄武町601番地								
大学の目的	本大学院は、学問の自由とキリスト教的精神とを尊重して、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究め、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、文化の進展に寄与することを目的とする。								
新設学部等の目的	本研究科は、スポーツ健康科学の専門的知識と卓越した理論を修得した高度専門職業人と、人と社会に役立つ研究を念頭におきながら、健康とスポーツを取り巻く学際的、総合的な諸問題にアプローチできる研究能力を以て新たな学問分野を開拓・運用できる研究者を養成することで、スポーツを通じた「健康づくり」や「生きがいづくり」に寄与すべき、スポーツ・健康教育の制度やその社会的環境をより整備、発展させることを教育研究上の理念とする。そして、遺伝子、細胞等のミクロレベルから集団レベルにまでわたる様々な身体運動を巡る自然科学および社会学的知見をより一層深化させた学術研究成果を発信し、健康とスポーツの学際的・包括的展開に貢献できる卓越した研究者並びに超高度専門職業人の育成を教育研究上の目的とする。								
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	【基礎となる学部】 スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科 【基礎となる修士課程】 スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻 修士課程
	スポーツ健康科学研究科 [Graduate School of Health & Sports Science] 博士後期課程 スポーツ健康科学専攻 [Doctor's Degree Program Health & Sports Science]	年	人	年次人	人	博士 (スポーツ健康科学)	平成24年4月 第1年次	京都府京田辺市多々羅 都谷1番3	
	計	3	3	-	9				
同一設置者内における変更状況(定員の移行、名称の変更等)	平成24年4月より次の通り変更 同志社大学 ・大学院工学研究科 理工学研究科へ名称変更(平成23年4月届出済み) ・大学院工学研究科工業化学専攻 応用化学専攻(博士前期課程及び後期課程)へ専攻名称変更(平成23年4月届出済み) ・大学院生命医科学研究科医工学・医情報学専攻(博士前期課程及び後期課程)設置(入学定員 前期課程 90名、後期課程 2名)(平成23年4月届出済み) ・大学院生命医科学研究科医生命システム専攻(博士前期課程及び後期課程)設置(入学定員 前期課程 20名、後期課程 12名)(平成23年4月届出済み) ・大学院生命医科学研究科生命医科学専攻(博士前期課程及び後期課程)学生募集停止(入学定員 前期課程 20名、後期課程 2名)(平成23年4月報告済み) ・大学院脳科学研究科発達加齢脳専攻(博士課程)設置(入学定員 10名)(平成23年4月届出済み) ・大学院スポーツ健康科学研究科スポーツ健康科学専攻修士課程 博士前期課程に課程名称変更予定 同志社女子大学 ・大学院薬学研究科医療薬学専攻(博士課程)設置予定(入学定員 4名)(平成23年5月認可申請予定)								

教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数			
		講義	演習	実験・実習	計				
	ｽｽﾞ健康科学研究科 ｽｽﾞ健康科学専攻 (博士後期課程)	4科目	6科目	0科目	10科目	16単位			
教	学部等の名称		専任教員等					兼任教員	
			教授	准教授	講師	助教	計	助手	
員	新	ｽｽﾞ健康科学研究科 ｽｽﾞ健康科学専攻 (博士後期課程)	人	人	人	人	人	人	人
	10 (10)		2 (2)	0 (0)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	0 (0)	
組	分	計	10 (10)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	0 (0)
	既	博士前期課程							
の		神学研究科 神学専攻	12 (12)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	15 (14)	0 (0)	5 (5)
		文学研究科 哲学専攻	8 (8)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	4 (4)
概		文学研究科 英文学・英語学専攻	15 (15)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	16 (16)	0 (0)	3 (3)
		文学研究科 文化史学専攻	10 (10)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	8 (8)
要		文学研究科 国文学専攻	10 (10)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	9 (9)
		文学研究科 美学芸術学専攻	5 (5)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	8 (8)	0 (0)	11 (11)
		社会学研究科 社会福祉学専攻	7 (7)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	7 (7)	0 (0)	12 (12)
		社会学研究科 メディア学専攻	6 (6)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	7 (7)	0 (0)	0 (0)
		社会学研究科 教育文化学専攻	7 (7)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	2 (2)
		社会学研究科 社会学専攻	7 (7)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	8 (8)	0 (0)	5 (5)
		社会学研究科 産業関係学専攻	5 (5)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	8 (8)	0 (0)	4 (4)
		法学研究科 政治学専攻	12 (12)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	5 (5)
		法学研究科 私法学専攻	15 (15)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	19 (19)	0 (0)	0 (0)
		法学研究科 公法学専攻	15 (15)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	18 (18)	0 (0)	11 (11)
		経済学研究科 理論経済学専攻	18 (18)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	23 (23)	0 (0)	11 (11)
		経済学研究科 応用経済学専攻	24 (24)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	27 (27)	0 (0)	0 (0)
		商学研究科 商学専攻	23 (23)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	23 (23)	0 (0)	26 (26)
		総合政策科学研究科 総合政策科学専攻	28 (28)	3 (3)	0 (0)	1 (1)	32 (31)	0 (0)	74 (74)
		文化情報学研究科 文化情報学専攻	16 (16)	7 (7)	0 (0)	1 (1)	24 (23)	0 (0)	1 (1)
		理工学研究科 情報工学専攻	15 (15)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	18 (18)	0 (0)	5 (5)
		理工学研究科 電気電子工学専攻	16 (16)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	19 (19)	0 (0)	12 (12)
		理工学研究科 機械工学専攻	17 (17)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	19 (19)	0 (0)	7 (7)
		理工学研究科 応用化学専攻	21 (21)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	24 (24)	0 (0)	8 (8)
		理工学研究科 数理環境科学専攻	13 (13)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	16 (16)	0 (0)	1 (1)
		生命医科学研究科 医工学・医情報学専攻	13 (13)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	16 (16)

平成23年度 教育学専攻を名称変更

平成24年度 工学研究科を理工学研究科に名称変更(平成23年4月届出済み)

平成24年度 工業科学専攻を名称変更(平成23年4月届出済み)

平成24年度開設(平成23年4月届出済み)

教	員	組	の	織	設	の	概	要	分	学部等の名称	専任教員等						兼任 教員	
											教授	准教授	講師	助教	計	助手		
既	生命医科学研究科 医生命システム専攻	7 (7)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	32 (32)	平成24年度開設（平成23年4月届出済み）									
	スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻	12 (12)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	0 (0)										
	心理学研究科 心理学専攻	10 (10)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	5 (5)										
	グローバル・スタディーズ研究科 グローバル・スタディーズ専攻	20 (20)	4 (4)	1 (1)	0 (0)	25 (25)	0 (0)	13 (13)										
	計	387 (387)	69 (69)	2 (2)	3 (3)	461 (458)	0 (0)	290 (290)	実数									
	博士後期課程																	
	神学研究科 神学専攻	5 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (5)	0 (0)	0 (0)										
	文学研究科 哲学専攻	6 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (6)	0 (0)	1 (1)										
	文学研究科 英文学・英語学専攻	12 (12)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	0 (0)										
	文学研究科 文化史学専攻	9 (9)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	1 (1)										
	文学研究科 国文学専攻	8 (8)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	8 (8)	0 (0)	0 (0)										
	文学研究科 美学芸術学専攻	4 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (4)	0 (0)	0 (0)										
	社会学研究科 社会福祉学専攻	5 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (5)	0 (0)	0 (0)										
	社会学研究科 メディア学専攻	6 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (6)	0 (0)	0 (0)										
	社会学研究科 教育文化学専攻	7 (7)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	7 (7)	0 (0)	1 (1)	平成23年度 教育学専攻を名称変更									
	社会学研究科 社会学専攻	6 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (6)	0 (0)	0 (0)										
	社会学研究科 産業関係学専攻	4 (4)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	5 (5)	0 (0)	0 (0)										
	法学研究科 政治学専攻	11 (11)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	0 (0)										
	法学研究科 私法学専攻	12 (12)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	0 (0)										
	法学研究科 公法学専攻	12 (12)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	0 (0)										
	経済学研究科 経済政策専攻	30 (30)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	30 (30)	0 (0)	1 (1)										
	商学研究科 商学専攻	13 (13)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	0 (0)										
	総合政策科学研究科 総合政策科学専攻	24 (24)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	24 (24)	0 (0)	0 (0)										
	文化情報学研究科 文化情報学専攻	12 (12)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	1 (1)										
	理工学研究科 情報工学専攻	16 (16)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	17 (17)	0 (0)	0 (0)	平成24年度 工学研究科を理工学研究科に名称変更（平成23年4月届出済み）									
	理工学研究科 電気電子工学専攻	12 (12)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	0 (0)										
	理工学研究科 機械工学専攻	16 (16)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	16 (16)	0 (0)	0 (0)										
	理工学研究科 応用化学専攻	14 (14)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	0 (0)	平成24年度 工業科学専攻を名称変更（平成23年4月届出済み）									
	理工学研究科 数理環境科学専攻	9 (9)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	0 (0)										
	生命医科学研究科 医工学・医情報学専攻	8 (8)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	8 (8)	0 (0)	4 (4)	平成24年度開設（平成23年4月届出済み）									
	生命医科学研究科 医生命システム専攻	7 (7)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	8 (8)	0 (0)	7 (7)	平成24年度開設（平成23年4月届出済み）									

教 員 組 織 の 概 要	学 部 等 の 名 称		専任教員等					兼任 教員			
			教授	准教授	講師	助教	計			助手	
既 設 の 概 要	心理科学研究科 心理学専攻		9	0	0	0	9	0	0	平成22年度開設 実数	
			(9)	(0)	(0)	(0)	(9)	(0)	(0)		
		グローバル・スタディーズ研究科 グローバル・スタディーズ専攻	17	0	0	0	17	0	0		
		計	294	4	0	0	298	0	16	平成21年度開設 平成24年度開設（平成23 年4月届出済み） 実数	
			(294)	(4)	(0)	(0)	(298)	(0)	(16)		
		博士課程（一貫制）									
		総合政策科学研究科 技術・革新的経営専攻		9	0	0	0	9	0	24	平成24年度開設（平成23 年4月届出済み） 実数
				(9)	(0)	(0)	(0)	(9)	(0)	(24)	
		脳科学研究科 発達加齢脳専攻		7	1	0	0	8	0	15	平成24年度開設（平成23 年4月届出済み） 実数
				(7)	(1)	(0)	(0)	(8)	(0)	(15)	
	計		16	1	0	0	17	0	39	実数	
			(16)	(1)	(0)	(0)	(17)	(0)	(39)		
	専門職学位課程										
	司法研究科 法務専攻		29	1	0	0	30	0	47	実数	
			(29)	(1)	(0)	(0)	(30)	(0)	(47)		
	ビジネス研究科 ビジネス専攻		11	3	0	0	14	0	45	実数	
			(11)	(3)	(0)	(0)	(14)	(0)	(45)		
	計		40	4	0	0	44	0	92	実数	
			(40)	(4)	(0)	(0)	(44)	(0)	(92)		
教 員 以 外 の 職 員 の 概 要	職 種		専 任		兼 任		計		大学全体		
	事 務 職 員		284 (284)		387 (387)		671 (671)				
	技 術 職 員		2 (2)		0 (0)		2 (2)				
	図 書 館 専 門 職 員		32 (32)		37 (37)		69 (69)				
	そ の 他 の 職 員		1 (1)		0 (0)		1 (1)				
	計		319 (319)		424 (424)		743 (743)				
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計		借用面積：5,521㎡ 借用期間：H21.4.1から 30年間			
	校 舎 敷 地	728,141㎡	0 ㎡	0 ㎡		728,141㎡					
	運 動 場 用 地	184,143㎡	0 ㎡	0 ㎡		184,143㎡					
	小 計	912,284㎡	0 ㎡	0 ㎡		912,284㎡					
	そ の 他	238,453㎡	0 ㎡	0 ㎡		238,453㎡					
	合 計	1,150,737㎡	0 ㎡	0 ㎡		1,150,737㎡					
校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計		法人部と共用			
		273,612㎡ (273,612 ㎡)	5,065 ㎡ (5,065 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)		278,677 ㎡ (278,677 ㎡)					
教 室 等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設		語学学習施設		大学全体			
	273 室	124 室	478 室	34 室 (補助職員 83 人)		3 室 (補助職員 0 人)					
専 任 教 員 研 究 室		新設学部等の名称		室 数				申請研究科全体			
		スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻		15 室							

図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	電子ジャーナルには大学全体での共用分を含む。 21,656タイトル 〔21,652タイトル〕		
	ｽｰｯ健康科学研究科	(25,508〔5,547〕)	(22,219〔22,196〕)	(22,176〔22,172〕)	803	41	0			
	ｽｰｯ健康科学専攻	(25,508〔5,547〕)	(22,219〔22,196〕)	(22,176〔22,172〕)	(803)	(41)	(0)			
	計	(25,508〔5,547〕) (25,508〔5,547〕)	(22,219〔22,196〕) (22,219〔22,196〕)	(22,176〔22,172〕) (22,176〔22,172〕)	803 (803)	41 (41)	0 (0)			
図書館	面積		閲覧座席数		収納可能冊数			大学全体		
	16,278㎡		2,667席		1,140,265冊					
体育館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体		
	10,580㎡		プール、弓道場など13施設、施設総面積6,393.14㎡を有する。							
経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	申請研究科全体図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コスト含む)を含む。	
		教員1人当り研究費等	930千円	930千円	930千円	930千円	-	-		-
		共同研究費等	21,069千円	21,066千円	21,066千円	21,066千円	-	-		-
		図書購入費	13,224千円	13,266千円	13,310千円	13,355千円	-	-		-
		設備購入費	10,900千円	10,956千円	11,016千円	11,076千円	-	-		-
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
		1,013千円	767千円	801千円	-千円	-千円	-千円			
学生納付金以外の維持方法の概要			手数料、寄付金、資産運用収入により充当する。							
既設大学等の概要	大学の名称	同志社大学								
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	大学院 博士前期課程及び 修士課程	年	人	年次人	人		倍			
	神学研究科 神学専攻	2	20	-	40	修士(神学) 修士(一神教研究)	1.00	平成19年度	京都市上京区今出川通 烏丸東入玄武町601番地	
	文学研究科 哲学専攻	2	10	-	20	修士(哲学)	0.40	昭和25年度	京都市上京区今出川通 烏丸東入玄武町601番地	
	英文学・英語学専攻	2	20	-	40	修士(英文学) 修士(英語学)	0.40	昭和25年度	同 上	
	文化史学専攻	2	15	-	30	修士(文化史学)	0.59	昭和26年度	同 上	
	心理学専攻	2	-	-	-	修士(心理学)	-	昭和36年度	同 上	
	国文学専攻	2	10	-	20	修士(国文学)	1.05	昭和37年度	同 上	
	美学芸術学専攻	2	5	-	10	修士(美学) 修士(芸術学)	1.40	昭和63年度	同 上	
	社会学研究科 社会福祉学専攻	2	10	-	20	修士(社会福祉学)	1.00	平成17年度	京都市上京区今出川通 烏丸東入玄武町601番地	
	メディア学専攻	2	5	-	10	修士(メディア学)	0.90	平成17年度	同 上	
	教育文化学専攻	2	7	-	14	修士(教育文化学)	1.00	平成17年度	同 上	
社会学専攻	2	10	-	20	修士(社会学)	0.30	平成17年度	同 上		
産業関係学専攻	2	5	-	10	修士(産業関係学)	0.60	平成17年度	同 上		
								平成21年4月より学生募集停止		
								平成23年4月より名称変更		

	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
既設大学等の概要	法学研究科									
	政治学専攻	2	40	-	80	修士(政治学)	0.26	昭和25年度	京都市上京区今出川通 烏丸東入玄武町601番地	
	私法学専攻	2	45	-	90	修士(法学)	0.74	昭和26年度	同上	
	公法学専攻	2	45	-	90	修士(法学)	0.57	昭和38年度	同上	
	経済学研究科									
	理論経済学専攻	2	25	-	50	修士(経済学)	0.10	昭和25年度	京都市上京区今出川通 烏丸東入玄武町601番地	
	応用経済学専攻	2	25	-	50	修士(経済学)	0.08	昭和25年度	同上	
	商学研究科									
	商学専攻	2	65	-	130	修士(商学)	0.40	昭和25年度	京都市上京区今出川通 烏丸東入玄武町601番地	
	総合政策科学研究科									
	総合政策学専攻	2	70	-	140	修士(政策科学) 修士(ヒューマン・キャリア) 修士(ソシヤル・イノベーション)	0.87	平成7年度	京都市上京区今出川通 烏丸東入玄武町601番地	
	文化情報学研究科									
	文化情報学専攻	2	30	-	60	修士(文化情報学)	0.69	平成19年度	京都府京田辺市多々羅 都谷1番地3	
	工学研究科									
	情報工学専攻	2	60	-	120	修士(工学)	1.56	平成10年度	京都府京田辺市多々羅 都谷1番地3	平成20年度知識工学専攻 を名称変更
	電気電子工学専攻	2	60	-	120	修士(工学)	1.52	昭和30年度	同上	平成20年度 電気工学専 攻を名称変更
	機械工学専攻	2	80	-	160	修士(工学)	1.29	昭和30年度	同上	
	工業化学専攻	2	60	-	120	修士(工学) 修士(理学)	1.72	昭和30年度	同上	
	数理環境科学専攻	2	25	-	50	修士(工学) 修士(理学)	0.68	平成10年度	同上	
	生命医科学研究科									
生命医科学専攻	2	20	-	40	修士(工学) 修士(理学)	2.32	平成20年度	京都府京田辺市多々羅 都谷1番地3	平成20年度開設	
スポーツ健康科学研究科										
スポーツ健康科学専攻	2	8	-	16	修士(スポーツ健康科学)	0.68	平成22年度	京都府京田辺市多々羅 都谷1番地3	平成22年度開設	
心理学研究科										
心理学専攻	2	10	-	20	修士(心理学)	1.10	平成21年度	京都市上京区今出川通 烏丸東入玄武町601番地	平成21年度開設	
アメリカ研究科										
アメリカ研究専攻	2	-	-	-	修士(アメリカ研究)	-	平成3年度	京都市上京区今出川通 烏丸東入玄武町601番地	平成22年4月より学生募 集停止	
グローバル・スタディーズ研究科										
グローバル・スタディーズ専攻	2	45	-	90	修士(アメリカ研究) 修士(現代アジア研究) 修士(グローバル社会研究)	0.72	平成22年度	京都市上京区今出川通 烏丸東入玄武町601番地	平成22年度開設	

学 部 等 の 名 称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定員 超過率	開設 年度	所 在 地	
博士後期課程									
神学研究科 神学専攻	3	5	-	15	博士（神学） 博士（一神教研究）	1.40	昭和28年度	京都市上京区今出川通 烏丸東入玄武町601番地	平成19年度歴史神学専攻 を名称変更
文学研究科 哲学専攻	3	5	-	15	博士（哲学）	0.60	昭和28年度	京都市上京区今出川通 烏丸東入玄武町601番地	
英文学・英語学専攻	3	2	-	6	博士（英文学） 博士（英語学）	0.66	昭和30年度	同 上	
文化史学専攻	3	4	-	12	博士（文化史学）	0.58	昭和30年度	同 上	
心理学専攻	3	-	-	-	博士（心理学）	-	昭和39年度	同 上	平成21年4月より学生募 集停止
国文学専攻	3	3	-	9	博士（国文学）	0.99	昭和61年度	同 上	
美学芸術学専攻	3	3	-	9	博士（芸術学）	0.99	平成 8年度	同 上	
社会学研究科 社会福祉学専攻	3	4	-	12	博士（社会福祉学）	0.91	平成17年度	京都市上京区今出川通 烏丸東入玄武町601番地	
メディア学専攻	3	2	-	6	博士（メディア学）	1.00	平成17年度	同 上	
教育文化学専攻	3	3	-	9	博士（教育文化学）	0.66	平成17年度	同 上	平成23年4月より名称変 更
社会学専攻	3	5	-	15	博士（社会学）	0.60	平成17年度	同 上	
産業関係学専攻	3	2	-	6	博士（産業関係学）	0.66	平成17年度	同 上	
法学研究科 政治学専攻	3	5	-	15	博士（政治学）	0.33	昭和28年度	京都市上京区今出川通 烏丸東入玄武町601番地	
私法学専攻	3	5	-	15	博士（法学）	0.33	昭和38年度	同 上	
公法学専攻	3	5	-	15	博士（法学）	0.20	昭和51年度	同 上	
経済学研究科 経済政策専攻	3	5	-	15	博士（経済学）	1.20	昭和32年度	京都市上京区今出川通 烏丸東入玄武町601番地	
商学研究科 商学専攻	3	5	-	15	博士（商学）	0.60	昭和40年度	京都市上京区今出川通 烏丸東入玄武町601番地	
総合政策科学研究科 総合政策科学専攻	3	15	-	45	博士（政策科学） 博士（ヒューマン・キャリア） 博士（ソーシャル・イノベーション）	1.24	平成 9年度	京都市上京区今出川通 烏丸東入玄武町601番地	
文化情報学研究科 文化情報学専攻	3	2	-	6	博士（文化情報学）	2.00	平成19年度	京都府京田辺市多々羅 都谷1番地3	
工学研究科 情報工学専攻	3	2	-	6	博士（工学）	1.16	平成12年度	京都府京田辺市多々羅 都谷1番地3	平成20年度 知識工学専 攻を名称変更
電気電子工学専攻	3	3	-	9	博士（工学）	0.88	昭和32年度	同 上	平成20年度 電気工学専 攻を名称変更
機械工学専攻	3	3	-	9	博士（工学）	1.77	昭和32年度	同 上	
工業化学専攻	3	3	-	9	博士（工学） 博士（理学）	1.22	昭和34年度	同 上	

既設大学等の概要

	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
既設大学等の概要	数理環境科学専攻	3	2	-	6	博士(工学) 博士(理学)	0.50	平成21年度	同上	平成21年度開設
	生命医科学研究科 生命医科学専攻	3	2	-	6	博士(工学) 博士(理学)	2.50	平成20年度	京都府京田辺市多々羅 都谷1番地3	平成20年度開設
	心理学研究科 心理学専攻	3	4	-	12	博士(心理学)	1.08	平成21年度	京都市上京区今出川通 烏丸東入玄武町601番地	平成21年度開設
	アメリカ研究科 アメリカ研究専攻	3	-	-	10	博士(アメリカ研究)	-	平成5年度	京都市上京区今出川通 烏丸東入玄武町601番地	平成22年4月より学生募集停止
	グローバル・スタディーズ研究科 グローバル・スタディーズ専攻	3	18	-	36	博士(アメリカ研究) 博士(現代アジア研究) 博士(グローバル社会研究)	0.55	平成22年度	京都市上京区今出川通 烏丸東入玄武町601番地	平成22年度開設
	一貫制博士課程									
	総合政策科学研究科 技術・革新的経営専攻	5	10	-	30	修士(技術・革新的経営) 博士(技術・革新的経営)	0.06	平成21年度	京都市上京区今出川通 烏丸東入玄武町601番地	平成21年度開設
	専門職学位課程									
	司法研究科 法務専攻	3	120	-	390	法務博士(専門職)	0.87	平成16年度	京都市上京区今出川通 烏丸東入玄武町601番地	
	ビジネス研究科 ビジネス専攻	2	70	-	140	ビジネス修士 (専門職)	0.67	平成16年度	京都市上京区今出川通 烏丸東入玄武町601番地	

既設大学等の概要	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地		
		年	人	年次人	人		倍				
	神学部						1.17				
	神学科	4	60	-	230	学士(神学)	1.17	昭和23年度	京都市上京区今出川通 烏丸東入玄武町601番地		
	文学部						1.08				
	英文学科	4	300	-	1183	学士(英文学) 学士(国際教養)	1.07	昭和23年度	京都市上京区今出川通 烏丸東入玄武町601番地	平成19年度より昼夜開講制によるコース制廃止	
	昼間主コース	4	-	-	-	学士(英文学)	-	昭和23年度	同 上	平成19年4月より学生募集停止	
	夜間主コース	4	-	-	-	学士(英文学)	-	平成9年度	同 上	平成19年4月より学生募集停止	
	哲学科	4	65	-	253	学士(哲学) 学士(国際教養)	1.13	平成17年度	同 上		
	心理学科	4	-	-	-	学士(心理学)	-	平成17年度	同 上	平成21年4月より学生募集停止	
	美学芸術学科	4	65	-	253	学士(美学芸術学) 学士(国際教養)	1.16	平成17年度	同 上		
	文化史学科	4	120	-	469	学士(文化史学) 学士(国際教養)	1.06	平成17年度	同 上		
	国文学科	4	120	-	473	学士(国文学) 学士(国際教養)	1.10	平成17年度	同 上	平成19年度より昼夜開講制によるコース制廃止	
	昼間主コース	4	-	-	-	学士(国文学)	-	平成17年度	同 上	平成19年4月より学生募集停止	
	夜間主コース	4	-	-	-	学士(国文学)	-	平成17年度	同 上	平成19年4月より学生募集停止	
	社会学部						1.16				
	社会学科	4	82	-	321	学士(社会学) 学士(国際教養)	1.10	平成17年度	京都市上京区今出川通 烏丸東入玄武町601番地		
	社会福祉学科	4	93	-	363	学士(社会福祉学) 学士(国際教養)	1.22	平成17年度	同 上		
	メディア学科	4	83	-	324	学士(メディア学) 学士(国際教養)	1.18	平成17年度	同 上		
	産業関係学科	4	82	-	321	学士(産業関係学) 学士(国際教養)	1.17	平成17年度	同 上		
	教育文化学科	4	60	-	236	学士(教育文化学) 学士(国際教養)	1.10	平成17年度	同 上		
	法学部						1.09				
	法律学科	4	650	-	2565	学士(法学) 学士(国際教養)	1.07	昭和23年度	京都市上京区今出川通 烏丸東入玄武町601番地		
	政治学科	4	200	-	790	学士(政治学) 学士(国際教養)	1.16	昭和23年度	同 上		
	経済学部						1.07				
	経済学科	4	850	-	3355	学士(経済学) 学士(国際教養)	1.07	昭和23年度	京都市上京区今出川通 烏丸東入玄武町601番地		
	商学部						1.05				
	商学科						1.05				
	昼間主コース	4	700	-	2765	学士(商学) 学士(国際教養)	1.08	昭和24年度	京都市上京区今出川通 烏丸東入玄武町601番地		
	夜間主コース	4	150	-	590	学士(商学)	0.95	平成9年度	同 上		
	政策学部						1.01				
	政策学科	4	400	-	1575	学士(政策学) 学士(国際教養)	1.01	平成16年度	京都市上京区今出川通 烏丸東入玄武町601番地	平成20年度より昼夜開講制によるコース制廃止	
	昼間主コース	4	-	-	-	学士(政策学)	-	平成16年度	同 上	平成20年4月より学生募集停止	
	夜間主コース	4	-	-	-	学士(政策学)	-	平成16年度	同 上	平成20年4月より学生募集停止	

	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
既設大学等の概要	文化情報学部 文化情報学科	4	280	-	1090	学士（文化情報学）	1.05 1.05	平成17年度	京都府京田辺市多々羅都谷1番地3	
	理工学部						1.18			平成20年度工学部を理工学部に変更
	インターネット情報工学科	4	80	-	320	学士（工学）	1.10	平成6年度	京都府京田辺市多々羅都谷1番地3	平成18年度知識工学科を名称変更
	情報システムデザイン学科	4	80	-	320	学士（工学）	1.23	平成16年度	同 上	
	電気工学科	4	75	-	300	学士（工学）	1.14	昭和24年度	同 上	
	電子工学科	4	85	-	340	学士（工学）	1.09	昭和38年度	同 上	
	機械システム工学科	4	90	-	360	学士（工学）	1.28	昭和24年度	同 上	
	IT・機械工学科	4	70	-	280	学士（工学）	1.13	昭和38年度	同 上	
	機能分子・生命化学科	4	80	-	320	学士（工学） 学士（理学）	1.24	平成6年度	同 上	平成20年度 機能分子工学科を名称変更
	化学システム創成工学科	4	80	-	320	学士（工学）	1.22	平成6年度	同 上	平成20年度物質化学工学科を名称変更
	環境システム学科	4	50	-	200	学士（工学） 学士（理学）	1.24	平成16年度	同 上	
	数理システム学科	4	40	-	160	学士（理学）	1.24	平成20年度	同 上	平成20年度開設
	生命医科学部						1.12			
	医工学科	4	90	-	360	学士（工学）	1.19	平成20年度	京都府京田辺市多々羅都谷1番地3	平成20年度開設
	医情報学科	4	90	-	360	学士（工学）	1.02	平成20年度	同 上	平成20年度開設
	医生命システム学科	4	60	-	240	学士（理学）	1.16	平成20年度	同 上	平成20年度開設
	スポーツ健康科学部						1.09			
	スポーツ健康科学科	4	150	-	600	学士（スポーツ健康科学）	1.09	平成20年度	京都府京田辺市多々羅都谷1番地3	平成20年度開設
	心理学部						1.05			
	心理学科	4	150	-	450	学士（心理学）	1.05	平成21年度	京都府京田辺市多々羅都谷1番地3	平成21年度開設
	グローバル・コミュニケーション学部						0.93			
	グローバル・コミュニケーション学科	4	150	-	150	学士（グローバル・コミュニケーション学）	0.93	平成23年度	京都府京田辺市多々羅都谷1番地3	平成23年度開設

既設学部等の概要	大学の名称	同志社女子大学							所在地
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	
		年	人	年次人	人		倍		
	大学院 文学研究科 英語英文学専攻 博士課程（前期）	2	8		16	修士 （英語英文学）	0.31	昭和 42年度	京都市上京区今出川 通烏丸東入玄武町 六〇貳番地壹
	文学研究科 英語英文学専攻 博士課程（後期）	3	4		12	博士 （英語英文学）	0.16	昭和 50年度	同 上
	文学研究科 日本語日本文化専攻 博士課程（前期）	2	10		20	修士 （日本語日本文化）	0.60	平成 9年度	同 上
	文学研究科 日本語日本文化専攻 博士課程（後期）	3	4		12	博士 （日本語日本文化）	0.25	平成 12年度	同 上
	文学研究科 情報文化専攻 修士課程	2	5		10	修士 （情報文化）	0.70	平成 20年度	京都府京田辺市興戸 南鉾立九七番壹
	国際社会システム研究科 国際社会システム専攻 修士課程	2	10		20	修士 （国際社会システム）	0.30	平成 16年度	同 上
	生活科学研究科 生活デザイン専攻 修士課程	2	5		10	修士 （生活デザイン）	1.00	平成 20年度	京都市上京区今出川 通烏丸東入玄武町 六〇貳番地壹
	生活科学研究科 食物栄養科学専攻 修士課程	2	8		16	修士 （食物栄養科学）	0.50	昭和 43年度	同 上

既設大学等の概要	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
		年	人	年次人	人		倍			
	学芸学部 英語英文学科	4				学士 (文学)	1.16	昭和 40年度	京都市上京区今出川 通烏丸東入玄武町 六〇貳番地壹	・平成19年4月から入学定員を次のとおり変更。 入学定員 200人 160人 [40] 3年次編入学定員 50人 5人 [45] ・平成21年度より学生募集停止
	日本語日本文学科	4				学士 (文学)		平成 元年度	同 上	・平成19年4月から3年次編入学定員を次のとおり変更。 30人 5人 [25] ・平成21年度より学生募集停止
	音楽学科 演奏専攻	4	75	3年次 5	310	学士 (音楽)	1.14	昭和 40年度	京都府京田辺市興戸 南鉾立九七番壹	
	音楽学科 音楽文化専攻	4	40	3年次 5	170	学士 (音楽)	1.10	昭和 40年度	同 上	
	情報メディア学科	4	120		480	学士 (情報ｼｽﾃﾑ)	1.19	平成 14年度	同 上	
	国際教養学科	4	80		320	学士 (国際教養学)	1.15	平成 19年度	同 上	・平成19年4月開設
	現代社会学部 社会システム学科	4	300	3年次 10	1,220	学士 (社会ｼｽﾃﾑ)	1.12 1.10	平成 12年度	同 上	・平成16年4月から入学定員を次のとおり変更 400人 300人 [100] ・平成19年4月から3年次編入学定員を次のとおり変更。 20人 10人 [10]
	現代こども学科	4	100		400	学士 (現代社会)	1.17	平成 16年度	同 上	・平成16年4月開設
	薬学部 医療薬学科	4				学士 (薬学)		平成 17年度	同 上	・平成17年4月開設
	薬学部 医療薬学科	6	120		720	学士 (薬学)	1.14 1.14	平成 18年度	同 上	・平成18年4月から6年制課程へ移行
	表象文化学部 英語英文学科	4	160	3年次 5	490	学士 (文学)	1.07 1.09	平成 21年度	京都市上京区今出川 通烏丸東入玄武町 六〇貳番地壹	・平成21年4月開設
	日本語日本文学科	4	130	3年次 5	400	学士 (文学)	1.04	平成 21年度	同 上	・平成21年4月開設
	生活科学部 人間生活学科	4	80		320	学士 (生活科学)	1.17 1.28	昭和 42年度	同 上	
	食物栄養科学科 食物科学専攻	4	55		220	学士 (生活科学)	1.19	昭和 44年度	同 上	
	食物栄養科学科 管理栄養士専攻	4	80		320	学士 (生活科学)	1.05	昭和 44年度	同 上	
	附属施設の概要	なし								

様式第2号(その2の1)

教育課程等の概要														
(スポーツ健康科学研究科スポーツ健康科学専攻 博士課程(後期課程))														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置				備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	助教	助手		
授業科目	身体適応科学深論	1・2・3前		2		○			2	1				オムニバス
	スポーツ医科学深論	1・2・3後		2		○			2	1				オムニバス
	トレーニング生理科学深論	1・2・3前		2		○			3					オムニバス
	健康社会科学深論	1・2・3後		2		○			3					オムニバス
	小計(4科目)	—	0	8	0	—			10	2	0	0	兼0	
研究指導科目	スポーツ健康科学特殊研究Ⅰ	1前	2				○		10	1				
	スポーツ健康科学特殊研究Ⅱ	1後	2				○		10	1				
	スポーツ健康科学特殊研究Ⅲ	2前	2				○		10	1				
	スポーツ健康科学特殊研究Ⅳ	2後	2				○		10	1				
	スポーツ健康科学特殊研究Ⅴ	3前	2				○		10	1				
	スポーツ健康科学特殊研究Ⅵ	3後	2				○		10	1				
	小計(6科目)	—	12	0	0	—			10	1	0	0	兼0	
論文		—				—								
合計(10科目)			—	12	8	0	—		10	2	0	0	兼0	
学位又は称号		博士(スポーツ健康科学)			学位又は学科の分野				体育関係					
修了要件及び履修方法								授業期間等						
①博士課程(後期課程)に3年以上在学していること。 ただし、優れた研究業績をあげた者については、同志社大学大学院学則第7条の規定により、3年未満の在学であっても修了できる。その場合、修了しようとする者は、前期・後期あわせて3年以上在学し、②の規定にかかわらず、在学年次の特殊研究必要単位数を修得していることを条件とする。 ②「特殊研究」を12単位を履修していること。 なお、①ただし書きを適用して、3年未満の在学で修了する者のスポーツ健康科学特殊研究Ⅰ～Ⅵの履修単位数については、博士学位論文審査を含め、総合的に判断する。 ③研究科内に設置されている授業科目「深論」から合計4単位以上を履修していること。 ④博士論文を提出し最終試験に合格すること。 ⑤研究に必要な1ヶ国以上の外国語によく通じていること。								1学年の学期区分		2		期		
								1学期の授業期間		15		週		
								1時限の授業時間		90		分		

授 業 科 目 の 概 要			
(スポーツ健康科学研究科スポーツ健康科学専攻 博士課程(後期課程))			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
授業科目	身体適応科学深論	<p>(概要)</p> <p>細胞内情報伝達系、脂肪組織や骨格筋などの組織機能、その他身体諸器官の身体運動に対する適応機構について、幅広い研究領域における先端的な知見に言及しながら、細胞から身体全体のホメオスタシスまでを視野に入れた最先端の身体適応科学を論ずる。具体的には、運動や栄養およびストレスに対する身体の適応構造について、分子・細胞レベルから、生体全体のエネルギー代謝調節機構及び、環境適応と各年代における健康運動の意義等についてまでを俯瞰できる新規視点の提供を行う。</p> <p>(オムニバス方式/全15回)</p> <p>(2 井澤 鉄也/7回)</p> <p>細胞内シグナル伝達経路のアウトラインに関する最新エビデンスについて概説した上で、チロシンキナーゼを介するシグナル伝達経路と運動による変化、GTP結合タンパク質を介するシグナル伝達経路と運動による変化、MAPキナーゼを介するシグナル伝達経路と運動による変化、イノシトールリン脂質を介するシグナル伝達経路と運動による変化、シグナル伝達による転写因子制御機構と運動による変化、アポトーシスのシグナル伝達と運動による変化に関する先端的知見について理解を深めさせる。</p> <p>(8 石井 好二郎/4回)</p> <p>幼児から高齢者まで、ライフステージに応じた運動処方に関する先端的知見および様々な環境時に行う運動処方の最新理論について理解を深めさせる。</p> <p>(12 海老根 直之/4回)</p> <p>エネルギー代謝調節機構の新たな展開、運動や食事に伴うエネルギー代謝調節機構の変化に関する先端的知見について理解を深めさせる。</p>	オムニバス方式
	スポーツ医科学深論	<p>(概要)</p> <p>スポーツ医科学は広範な学問体系であり、その理解や探究には運動器の機能解剖学や運動学の知識が必須である。スポーツ医学の最新の知見をもとに、運動器の機能解剖と運動学の視点から、各種スポーツにおける特徴的な身体動作によって生じるスポーツ傷害を理論的に学習する。さらに、バイオメカニクス的な身体運動分析を学習し、それらの知見をスポーツ運動・技術論的な観点から実際のパフォーマンスに展開応用することによって、スポーツ傷害の予防や健康とスポーツの新たな関わりについて理解を深める。</p> <p>(オムニバス方式/全15回)</p> <p>(5 北條 達也/7回)</p> <p>スポーツ医学概論：機能解剖とスポーツ傷害、骨、軟骨、筋、神経(脊髄および末梢神経)のそれぞれについて、運動器の構造・機能とその修復、およびスポーツによる運動器傷害とその修復促進(物理療法を中心に)に関する先端的知見について理解を深めさせる。</p> <p>(3 田附 俊一/5回)</p> <p>スポーツ動作解析と運動発生の現状と課題、スポーツ運動学と運動発生の現状と課題、運動発生の課題解決アプローチ：基本の運動<走・跳・投>、運動発生アプローチの効果や影響：Ballschuleに関する最新知見について理解を深めさせる。</p>	オムニバス方式

授 業 科 目 の 概 要

(スポーツ健康科学研究科スポーツ健康科学専攻 博士課程(後期課程))

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
授業科目	スポーツ医科学深論 (続き)	(11 中村 康雄 / 5回) スポーツによる運動器傷害のバイオメカニクス、スポーツによる運動器傷害のバイオメカニクス、身体動作の運動学・動力学解析、筋電図による動作分析に関する先端的知見について理解を深めさせる。	
	トレーニング生理科学深論	(概要) 現代のスポーツは科学的視点が導入され、身体構造の機能解明や神経心理学的学習構築が明らかになりつつある。これらの生理科学的解明により、トレーニング方法及びコーチング方法は高度化しつつある。本講義では、まず寒冷、暑熱、高圧(潜水)、低圧(高地)、無重力(宇宙)、サーカディアンなど種々の環境ストレスに対する環境適応機序について論じ、運動・スポーツにおける環境情報入力からスキルや行動としての出力に至る過程の神経心理的機序を解明し、最終的に「トップパフォーマンス構築」と「段階的の選手育成」といった競技現場を考慮したトレーニング方法論、測定評価論へ展開させることで、効率的な競技力向上対策と生涯スポーツの実践法の新たな視点について解説する。 (オムニバス方式 / 全15回) (7 福岡 義之 / 7回) 寒冷および暑熱環境ストレスに対する生理的な適応機序、高圧力(潜水)環境ストレスに対する生理的な適応機序、低圧(高地)環境ストレスに対する生理的な適応機序、無重力環境ストレスに対する生理的な適応機序、サーカディアンリズムに対する生理的な適応機序に関する先端的知見について理解を深めさせる。 (10 石倉 忠夫 / 6回) 運動・スポーツにおける生理心理学的適応、運動・スポーツにおける人的環境ストレスへの適応、運動スキルのコントロール、運動スキルの学習過程に関する最新知見について理解を深めさせる。 (1 藤澤 義彦 / 6回) 健康関連体力と身体行動能力の測定評価、トップパフォーマンス関連の測定評価、超音波画像解析を用いた身体組成の測定、競技種目特性を考慮したエクササイズ開発等に関する最新知見について理解を深めさせる。	オムニバス方式
	健康社会科学深論	(概要) 現代社会においては、生活習慣や遺伝的体質、老化現象、社会的環境などを原因とする疾病や障害の発生がますます増加しており、医療保険や介護保険、高齢者・障がい者福祉などを含む社会保障制度の構造改革が喫緊の課題となっている。本講義では、健康指標などの統計資料や疫学研究などの最新エビデンスを基に、傷病者の実態や発生のリスク要因、現代社会における先端的保健政策などについて概説し、次いで障がい者によるアダプテッド・スポーツを含んだ健康体力づくり運動やスポーツプロモーションを社会科学的視点から進展させるための施策について最新の実例を紹介しながら解説していく。また、ヒトのスポーツ・健康需要を喚起するスポーツ・健康プロモーション施策として、官公庁や地域行政等で新規展開されている、スポーツ・ツーリズムをめぐる社会現象を取り上げ、その背景にあるスポーツ消費者行動のメカニズムを先端的な行動科学理論および方法論から解明し、ヒトのライフスタイルや生活の質(QOL)を向上させるための新たな実践的施策を提示する。 (オムニバス方式 / 全15回) (4 柳田 昌彦 / 7回) 現代社会における疾病や障害などに関する最新エビデンス、ヘルスプロモーションにおける運動疫学研究、現代社会における社会保障制度と保健政策、地域保健、産業保健、学校保健、老人保健・福祉に関する先端的知見について理解を深めさせる。	オムニバス方式

授 業 科 目 の 概 要

(スポーツ健康科学研究科スポーツ健康科学専攻 博士課程(後期課程))

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
授業科目	健康社会科学深論 (続き)	<p>(6 藤田 紀昭 / 4回) 障がい者のスポーツの社会化、国際生活機能分類(ICF)を用いた障がい者のスポーツ社会環境、障がい者のスポーツに対する意識・態度、障がい者のスポーツ普及とメディアに関する最新知見について理解を深めさせる。</p> <p>(9 二宮 浩彰 / 4回) スポーツ消費者行動の理論と方法論に関する先端的知見、スポーツ・マーケティング政策の先端的知見、スポーツ・ツーリズムによる地域活性化施策の最新動向、スポーツ・健康プロモーション施策としてのスポーツ・ツーリズムの先端的展開について理解を深めさせる。</p>	
研究指導科目	スポーツ健康科学特殊研究	<p>(概要) 博士論文を作成するための実験や計画に不可欠な先端的な知識を習得する。そのために、論文英語のreading、writingなどの能力をさらに高めるとともに、当該領域における先端的研究の成果を学習し、博士論文の構想立案を目指す。</p> <p>(1 藤澤 義彦) トレーニング生理学(スポーツ測定方法論)研究分野の研究遂行にかかわる先端的理論と研究の枠組みに対する理解を深めることによって、博士論文を作成するための実験や計画に不可欠な先端的な知識を習得する。そのために、論文英語のreading、writingなどの能力をさらに高めるとともに、当該領域における先端的研究の成果を学習し、博士論文の構想立案を目指す。 具体的には、競技力向上のみならず、健康関連体力の維持・向上にも注目し、最新のパフォーマンスの測定・計量方法・評価法等を検討する。それと同時に最新のデータ・サイエンスを修得し、そこから、各自の課題研究の構想・立案を行うことを目的とする。</p> <p>(2 井澤 鉄也) 身体適応科学(スポーツ生化学・分子生物学)分野の研究遂行にかかわる先端的理論と研究の枠組みに対する理解を深めることによって、博士論文を作成するための実験や計画に不可欠な先端的な知識を習得する。そのために、論文英語のreading、writingなどの能力をさらに高めるとともに、当該領域における先端的研究の成果を学習し、博士論文の構想立案と研究計画・執筆計画を行う。</p> <p>(3 田附 俊一) スポーツ医科学(スポーツ運動・技術論)分野の研究遂行にかかわる先端的理論と研究の枠組みに対する理解を深めることによって、博士論文を作成するための実験や計画に不可欠な先端的な知識を習得する。そのために、論文英語や論文ドイツ語のreading、writingなどの能力をさらに高めるとともに、当該領域における先端的研究の成果を学習し、博士論文の構想立案を目指す。</p> <p>(4 柳田 昌彦) 健康社会科学(公衆衛生・ヘルスプロモーション)分野の研究遂行にかかわる先端的理論と研究の枠組みに対する理解を深めることによって、博士論文を作成するための研究計画の立案に不可欠な先端的な知識を習得する。そのために、英語論文講読に必要なreadingやwritingなどの能力をさらに高めるとともに、当該領域における先端的研究のエビデンスを収集し、博士論文の構想立案を目指す。</p>	

授 業 科 目 の 概 要

(スポーツ健康科学研究科スポーツ健康科学専攻 博士課程(後期課程))

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
研究指導科目	スポーツ健康科学特殊研究 (続き)	<p>(5 北條 達也) スポーツ医科学(スポーツ医学・運動器病態学・リハビリテーション医学)分野の研究遂行にかかわる先端的理論と研究の枠組みに対する理解を深めることによって、博士論文を作成するための実験や計画に不可欠な先端的な知識を習得する。そのために、論文英語のreading、writingなどの能力をさらに高めるとともに、当該領域における先端的研究の成果を学習し、博士論文の構想立案を目指す。</p> <p>(6 藤田 紀昭) 健康社会科学(アダプテッド・スポーツ)分野の研究遂行にかかわる先端的理論と研究の枠組みに対する理解を深めることによって、博士論文を作成するための調査や計画に不可欠な先端的な知識を習得する。そのために、論文英語のreading、writingなどの能力をさらに高めるとともに、当該領域における先端的研究の成果を学習し、博士論文の構想立案を目指す。</p> <p>(7 福岡 義之) トレーニング生理科学(環境生理学・応用生理人類学分野)分野の研究遂行にかかわる先端的理論と研究の枠組みに対する理解を深めることによって、博士論文を作成するための実験や計画に不可欠な先端的な知識を習得する。そのために、論文英語のreading、writingなどの能力をさらに高めるとともに、当該領域における先端的研究の成果を学習し、博士論文の構想立案を目指す。</p> <p>(8 石井 好二郎) 身体適応科学(運動処方)分野の研究遂行にかかわる先端的理論と研究の枠組みに対する理解を深めることによって、博士論文を作成するための実験や計画に不可欠な先端的な知識を習得する。そのために、論文英語のreading、writingなどの能力をさらに高めるとともに、当該領域における先端的研究の成果を学習し、博士論文の構想立案を目指す。</p> <p>(9 二宮 浩彰) 健康社会科学(スポーツ・マネジメント研究)分野の研究遂行にかかわる先端的理論と研究の枠組みに対する理解を深めることによって、博士論文を作成するための研究計画に不可欠な先端的な知識を習得する。そのために、論文英語の読解力および表現力をさらに高めるとともに、当該領域における先端的研究の成果を学習し、博士論文の構想立案を目指す。スポーツ健康科学の先端的知見にとどまらず、経営学、社会学、政策学といった社会科学の先端的理論や方法論を援用してスポーツ・マネジメントにアプローチする研究能力を養成するための指導を行う。</p> <p>(10 石倉 忠夫) トレーニング生理科学(スポーツ心理学)研究分野の研究遂行にかかわる先端的理論と研究の枠組みに対する理解を深めることによって、博士論文を作成するための実験や計画に不可欠な先端的な知識を習得する。そのために、論文英語のreading、writingなどの能力をさらに高めるとともに、当該領域における先端的研究の成果を学習し、博士論文の構想立案を目指す。 具体的には、各自の研究課題に関連する要因を多面的に検討する。それと同時に最新の研究成果を理解し、そこから、課題研究の構想・立案を行うことを目的とする。</p> <p>(11 中村 康雄) スポーツ医科学(スポーツ・バイオメカニクス)分野の研究遂行にかかわる先端的理論と研究の枠組みに対する理解を深めることによって、博士論文を作成するための実験や計画に不可欠な先端的な知識を習得する。そのために、論文英語のreading、writingなどの能力をさらに高めるとともに、当該領域における先端的研究の成果を学習し、博士論文の構想立案を目指す。</p>	

授 業 科 目 の 概 要

(スポーツ健康科学研究科スポーツ健康科学専攻 博士課程(後期課程))

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
研究指導科目	スポーツ健康科学特殊研究	<p>(概要) 博士論文の研究に向けて、各自の研究テーマに沿った先端的な研究論文のレビューを行う。論文内容を正確に把握し、簡潔にまとめて発表を行う能力を養い、最先端の問題に対する理解の深化を目指す。</p> <p>(1 藤澤 義彦) 博士論文(スポーツ測定方法論分野)の研究に向けて、各自の研究テーマに沿った先端的な研究論文のレビューを行う。論文内容を正確に把握し、簡潔にまとめて発表を行う能力を養い、最先端の問題に対する理解の深化を目指す。 具体的には、研究論文のレビューと共に、最新のパフォーマンスの測定・計量方法・評価法等を検討する。各自が興味を持つ各種測定等をも研究対象とし、各自の研究の進捗状況の報告を踏まえながら研究内容を深化させていく。</p> <p>(2 井澤 鉄也) 博士論文(スポーツ生化学・分子生物学分野)の研究に向けて、各自の研究テーマに沿った先端的な研究論文のレビューを行う。論文内容を正確に把握し、簡潔にまとめて発表を行う能力を養い、最先端の問題に対する理解の深化を目指す。</p> <p>(3 田附 俊一) 博士論文(スポーツ運動・技術論分野)の研究に向けて、各自の研究テーマに沿った先端的な研究論文のレビューを行う。論文内容を正確に把握し、簡潔にまとめて発表を行う能力を養い、最先端の問題に対する理解の深化を目指す。</p> <p>(4 柳田 昌彦) 博士論文(公衆衛生学・ヘルスプロモーション分野)の研究に向けて、各自の研究テーマに沿った先端的な研究論文のレビューを行う。論文内容を正確に把握し、簡潔にまとめて発表を行う能力を養い、最先端の問題に対する理解の深化を目指す。</p> <p>(5 北條 達也) 博士論文(スポーツ医科学分野)の研究に向けて、各自の研究テーマに沿った先端的な研究論文のレビューを行う。論文内容を正確に把握し、簡潔にまとめて発表を行う能力を養い、最先端の問題に対する理解の深化を目指す。</p> <p>(6 藤田 紀昭) 博士論文(アダプテッド・スポーツ)の研究に向けて、各自の研究テーマに沿った先端的な研究論文のレビューを行う。論文内容を正確に把握し、簡潔にまとめて発表を行う能力を養い、最先端の問題に対する理解の深化を目指す。</p> <p>(7 福岡 義之) 博士論文(環境生理学・応用生理人類学分野)の研究に向けて、各自の研究テーマに沿った先端的な研究論文のレビューを行う。論文内容を正確に把握し、簡潔にまとめて発表を行う能力を養い、最先端の問題に対する理解の深化を目指す。</p> <p>(8 石井 好二郎) 博士論文(運動処方分野)の研究に向けて、各自の研究テーマに沿った先端的な研究論文のレビューを行う。論文内容を正確に把握し、簡潔にまとめて発表を行う能力を養い、最先端の問題に対する理解の深化を目指す。</p>	

授 業 科 目 の 概 要

(スポーツ健康科学研究科スポーツ健康科学専攻 博士課程(後期課程))

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
研究指導科目	スポーツ健康科学特殊研究 (続き)	<p>(9 二宮 浩彰) 博士論文(スポーツ・マネジメント研究分野)の研究に向けて、各自の研究テーマに沿った先端的な研究論文のレビューを行う。論文内容を正確に把握し、簡潔にまとめて発表を行う能力を養い、最先端の問題に対する理解の深化を目指す。ここでは、博士論文に関連したトピックを設定し、社会科学、およびスポーツ関連のデータベースを用いて文献レビューを詳細に行い、その研究動向と方法論を体系的に整理しながらスポーツ・マネジメント研究の動向について検討していく。</p> <p>(10 石倉 忠夫) 博士論文(スポーツ心理学分野)の研究に向けて、各自の研究テーマに沿った先端的な研究論文のレビューを行う。論文内容を正確に把握し、簡潔にまとめて発表を行う能力を養い、最先端の問題に対する理解の深化を目指す。 具体的には、研究論文のレビューと共に、具体的な実験または調査方法を検討する。各自の研究の進捗状況の報告を踏まえながら研究内容を深化させていく。</p> <p>(11 中村 康雄) 博士論文(スポーツ・バイオメカニクス分野)の研究に向けて、各自の研究テーマに沿った先端的な研究論文のレビューを行う。論文内容を正確に把握し、簡潔にまとめて発表を行う能力を養い、最先端の問題に対する理解の深化を目指す。</p>	
	スポーツ健康科学特殊研究	<p>(概要) 博士論文の発展を目的として、各自が研究テーマの進捗状況の報告と、研究テーマに関する最新かつ先端的な研究論文のレビューを行い、中間発表会に向けてこれまでの研究内容をまとめる。ここでは、とくに、研究を進める上で具体的に問題となっている事柄を解決する能力の養成を目指す。</p> <p>(1 藤澤 義彦) 博士論文(スポーツ測定方法論)の発展を目的として、各自が研究テーマの進捗状況の報告と、研究テーマに関する最新かつ先端的な研究論文のレビューを行い、中間発表会に向けてこれまでの研究内容をまとめる。ここでは、とくに、研究を進める上で具体的に問題となっている事柄を解決する能力の養成を目指す。 具体的には、研究テーマに関する最新の研究論文レビューと共に、最新のパフォーマンスの測定・計量等を実施し検討する。その研究状況を中間発表会で発表すべく研究内容をまとめる。</p> <p>(2 井澤 鉄也) 博士論文(スポーツ生化学・分子生物学分野)の発展を目的として、各自が研究テーマの進捗状況の報告と、研究テーマに関する最新かつ先端的な研究論文のレビューを行い、中間発表会に向けてこれまでの研究内容をまとめる。ここでは、とくに、研究を進める上で具体的に問題となっている事柄を解決する能力の養成を目指す。</p> <p>(3 田附 俊一) 博士論文(スポーツ運動・技術論分野)の発展を目的として、各自が研究テーマの進捗状況の報告と、研究テーマに関する最新かつ先端的な研究論文のレビューを行い、中間発表会に向けてこれまでの研究内容をまとめる。ここでは、とくに、研究を進める上で具体的に問題となっている事柄を解決する能力の養成を目指す。</p>	

授 業 科 目 の 概 要

(スポーツ健康科学研究科スポーツ健康科学専攻 博士課程(後期課程))

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
研究指導科目	スポーツ健康科学特殊研究 (続き)	<p>(4 柳田 昌彦) 博士論文(公衆衛生学・ヘルスプロモーション分野)の発展を目的として、各自が研究テーマの進捗状況の報告と、研究テーマに関する最新かつ先端的な研究論文のレビューを行い、中間発表会に向けてこれまでの研究内容をまとめる。ここでは、とくに研究を進める上で具体的に問題となっている事柄を解決する能力の養成を目指す。</p> <p>(5 北條 達也) 博士論文(スポーツ医科学分野)の発展を目的として、各自が研究テーマの進捗状況の報告と、研究テーマに関する最新かつ先端的な研究論文のレビューを行い、中間発表会に向けてこれまでの研究内容をまとめる。ここでは、とくに、研究を進める上で具体的に問題となっている事柄を解決する能力の養成を目指す。</p> <p>(6 藤田 紀昭) 博士論文(アダプテッド・スポーツ分野)の発展を目的として、各自が研究テーマの進捗状況の報告と、研究テーマに関する最新かつ先端的な研究論文のレビューを行い、中間発表会に向けてこれまでの研究内容をまとめる。ここでは、とくに、研究を進める上で具体的に問題となっている事柄を解決する能力の養成を目指す。</p> <p>(7 福岡 義之) 博士論文(環境生理学・応用生理人類学分野)の発展を目的として、各自が研究テーマの進捗状況の報告と、研究テーマに関する最新かつ先端的な研究論文のレビューを行い、中間発表会に向けてこれまでの研究内容をまとめる。ここでは、とくに、研究を進める上で具体的に問題となっている事柄を解決する能力の養成を目指す。</p> <p>(8 石井 好二郎) 博士論文(運動処方分野)の発展を目的として、各自が研究テーマの進捗状況の報告と、研究テーマに関する最新かつ先端的な研究論文のレビューを行い、中間発表会に向けてこれまでの研究内容をまとめる。ここでは、とくに、研究を進める上で具体的に問題となっている事柄を解決する能力の養成を目指す。</p> <p>(9 二宮 浩彰) 博士論文(スポーツ・マネジメント研究分野)の発展を目的として、各自が研究テーマの進捗状況の報告と、研究テーマに関する最新かつ先端的な研究論文のレビューを行い、中間発表会に向けてこれまでの研究内容をまとめる。とくに、研究を進める上で具体的に問題となっている事柄を解決する能力の養成を目指す。ここでは、フィールドワーク、聞き取り調査、インタビュー調査といった方法を用いて、博士論文に関連したトピックについて調査研究を行う。定性分析によるスポーツ組織行動やスポーツ消費者行動の分析方法についての高度な研究能力を習得することを狙いとする。</p> <p>(10 石倉 忠夫) 博士論文(スポーツ心理学)の発展を目的として、各自が研究テーマの進捗状況の報告と、研究テーマに関する最新かつ先端的な研究論文のレビューを行い、中間発表会に向けてこれまでの研究内容をまとめる。ここでは、とくに、研究を進める上で具体的に問題となっている事柄を解決する能力の養成を目指す。 具体的には、予備的な実験または調査を行うと共に、研究テーマに関する最新の研究論文レビューを継続して行う。さらに、その結果を中間発表会で発表すべく研究内容をまとめ、次なる実験または調査に向けてその目的と方法等について検討する。</p>	

授 業 科 目 の 概 要

(スポーツ健康科学研究科スポーツ健康科学専攻 博士課程(後期課程))

科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
研究 指 導 科 目	スポーツ健康科学特殊研究 (続き)	(11 中村 康雄) 博士論文(スポーツ・バイオメカニクス分野)の発展を目的として、各自が研究テーマの進捗状況の報告と、研究テーマに関する最新かつ先端的な研究論文のレビューを行い、中間発表会に向けてこれまでの研究内容をまとめる。ここでは、とくに、研究を進める上で具体的に問題となっている事柄を解決する能力の養成を目指す。	
	スポーツ健康科学特殊研究	(概要) 博士論文の発展を目的として、各自が研究テーマの進捗状況の報告と、研究テーマに関する最新かつ先端的な研究論文のレビューを行い、研究を進める上で具体的に問題となっている事柄を解決する能力のブラッシュアップを目指す。 (1 藤澤 義彦) 博士論文(スポーツ測定方法論分野)の発展を目的として、各自が研究テーマの進捗状況の報告と、研究テーマに関する最新かつ先端的な研究論文のレビューを行い、研究を進める上で具体的に問題となっている事柄を解決する能力のブラッシュアップを目指す。 具体的には、研究テーマに関する最新の研究論文レビューと共に、最新のパフォーマンスの測定・計量を実施し、その研究内容等について引き続き検討を行う。研究遂行上の問題点を発見し、解決する能力をさらに進化させる。 (2 井澤 鉄也) 博士論文(スポーツ生化学・分子生物学分野)の発展を目的として、各自が研究テーマの進捗状況の報告と、研究テーマに関する最新かつ先端的な研究論文のレビューを行い、研究を進める上で具体的に問題となっている事柄を解決する能力のブラッシュアップを行い、個別に問題となっている事柄を解決し、博士論文の全体構成をまとめる能力を養う。 (3 田附 俊一) 博士論文(スポーツ運動・技術論分野)の発展を目的として、各自が研究テーマの進捗状況の報告と、研究テーマに関する最新かつ先端的な研究論文のレビューを行い、研究を進める上で具体的に問題となっている事柄を解決する能力のブラッシュアップを目指す。 (4 柳田 昌彦) 博士論文(公衆衛生学・ヘルスプロモーション分野)の発展を目的として、各自が研究テーマの進捗状況の報告と、研究テーマに関する最新かつ先端的な研究論文のレビューを行い、研究を進める上で具体的に問題となっている事柄を解決する能力のブラッシュアップを目指す。 (5 北條 達也) 博士論文(スポーツ医科学分野)の発展を目的として、各自が研究テーマの進捗状況の報告と、研究テーマに関する最新かつ先端的な研究論文のレビューを行い、研究を進める上で具体的に問題となっている事柄を解決する能力のブラッシュアップを目指す。 (6 藤田 紀昭) 博士論文(アダプテッド・スポーツ分野)の発展を目的として、各自が研究テーマの進捗状況の報告と、研究テーマに関する最新かつ先端的な研究論文のレビューを行い、研究を進める上で具体的に問題となっている事柄を解決する能力のブラッシュアップを目指す。	

授 業 科 目 の 概 要

(スポーツ健康科学研究科スポーツ健康科学専攻 博士課程(後期課程))

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
研究指導科目	スポーツ健康科学特殊研究 (続き)	<p>(7 福岡 義之) 博士論文(環境生理学・応用生理人類学分野)の発展を目的として、各自が研究テーマの進捗状況の報告と、研究テーマに関する最新かつ先端的な研究論文のレビューを行い、研究を進める上で具体的に問題となっている事柄を解決する能力のブラッシュアップを目指す。</p> <p>(8 石井 好二郎) 博士論文(運動処方分野)の発展を目的として、各自が研究テーマの進捗状況の報告と、研究テーマに関する最新かつ先端的な研究論文のレビューを行い、研究を進める上で具体的に問題となっている事柄を解決する能力のブラッシュアップを目指す。</p> <p>(9 二宮 浩彰) 博士論文(スポーツ・マネジメント研究分野)の発展を目的として、各自が研究テーマの進捗状況の報告と、研究テーマに関する最新かつ先端的な研究論文のレビューを行い、研究を進める上で具体的に問題となっている事柄を解決する能力のブラッシュアップを目指す。ここでは、スポーツ消費者行動を把握するための社会調査(スポーツ・マーケティング・リサーチ)による実証研究を行うことにより、定量分析によるスポーツ消費者行動の高度な分析方法について習得する。</p> <p>(10 石倉 忠夫) 博士論文(スポーツ心理学分野)の発展を目的として、各自が研究テーマの進捗状況の報告と、研究テーマに関する最新かつ先端的な研究論文のレビューを行い、研究を進める上で具体的に問題となっている事柄を解決する能力のブラッシュアップを目指す。 具体的には、研究テーマに関する最新の研究論文レビューと共に、実験または調査を実施し、その研究内容等について引き続き検討を行う。研究遂行上の問題点を発見し、解決する能力をさらに進化させる。</p> <p>(11 中村 康雄) 博士論文(スポーツ・バイオメカニクス分野)の発展を目的として、各自が研究テーマの進捗状況の報告と、研究テーマに関する最新かつ先端的な研究論文のレビューを行い、研究を進める上で具体的に問題となっている事柄を解決する能力のブラッシュアップを目指す。</p>	
	スポーツ健康科学特殊研究	<p>(概要) 博士論文の完成を目的とする演習で、ここでは、博士論文作成のための個別指導に主眼をおく。個別の研究を総合的に完結できる能力を養う。</p> <p>(1 藤澤 義彦) 博士論文(スポーツ測定方法論)の完成を目的とする演習で、ここでは、博士論文作成のための個別指導に主眼をおく。個別の研究を総合的に完結できる能力を養う。 具体的には、各種測定並びに計測の結果得られたデータを最新の文献レビューを基に分析し、博士論文の完成を目指す。この過程から、研究者及び、超高度職業人としての能力の獲得をすると共に、個別の研究を総合的に完結できる能力を養う。</p> <p>(2 井澤 鉄也) 博士論文(スポーツ生化学・分子生物学分野)の完成を目的とする演習で、ここでは、博士論文作成のための個別指導に主眼をおく。個別の研究を総合的に完結できる能力とディフェンス能力を養い、博士論文の全体構成を完成させる。</p>	

授 業 科 目 の 概 要

(スポーツ健康科学研究科スポーツ健康科学専攻 博士課程(後期課程))

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
研究指導科目	スポーツ健康科学特殊研究 (続き)	<p>(3 田附 俊一) 博士論文(スポーツ運動・技術論分野)の完成を目的とする演習で、ここでは、博士論文作成のための個別指導に主眼をおく。個別の研究を総合的に完結できる能力を養う。</p> <p>(4 柳田 昌彦) 博士論文(公衆衛生学・ヘルスプロモーション分野)の完成を目的とする演習で、ここでは、博士論文作成のための個別指導に主眼をおく。個別の研究を総合的に完結できる能力を養う。</p> <p>(5 北條 達也) 博士論文(スポーツ医科学分野)の完成を目的とする演習で、ここでは、博士論文作成のための個別指導に主眼をおく。個別の研究を総合的に完結できる能力を養う。</p> <p>(6 藤田 紀昭) 博士論文(アダプテッド・スポーツ分野)の完成を目的とする演習で、ここでは、博士論文作成のための個別指導に主眼をおく。個別の研究を総合的に完結できる能力を養う。</p> <p>(7 福岡 義之) 博士論文(環境生理学・応用生理人類学分野)の完成を目的とする演習で、ここでは、博士論文作成のための個別指導に主眼をおく。個別の研究を総合的に完結できる能力を養う。</p> <p>(8 石井 好二郎) 博士論文(運動処方分野)の完成を目的とする演習で、ここでは、博士論文作成のための個別指導に主眼をおく。個別の研究を総合的に完結できる能力を養う。</p> <p>(9 二宮 浩彰) 博士論文(スポーツ・マネジメント研究分野)の完成を目的とする演習として、博士論文作成のための個別指導に主眼をおく。ここでは、実証研究により得られた成果について、最新の文献レビューに基づいて考察を行うことで博士論文の整合性を高めることを目指す。そのことで、個別の研究を総合的に完結できる能力を養う。</p> <p>(10 石倉 忠夫) 博士論文(スポーツ心理学分野)の完成を目的とする演習で、ここでは、博士論文作成のための個別指導に主眼をおく。個別の研究を総合的に完結できる能力を養う。 具体的には、実験または調査で得られたデータを分析および考察し、博士論文の完成を目指す。この過程から、研究者及び、超高度職業人としての能力の獲得をすると共に、個別の研究を総合的に完結できる能力を養う。</p> <p>(11 中村 康雄) 博士論文(スポーツ・バイオメカニクス分野)の完成を目的とする演習で、ここでは、博士論文作成のための個別指導に主眼をおく。個別の研究を総合的に完結できる能力を養う。</p>	
	スポーツ健康科学特殊研究	<p>(概要) 博士論文の完成を目的とする演習で、博士論文作成のための個別指導に主眼をおく。個別の研究を総合的に論文として完結できる能力をブラッシュアップし、自立した研究者としての能力の獲得をする。</p>	

授 業 科 目 の 概 要

(スポーツ健康科学研究科スポーツ健康科学専攻 博士課程(後期課程))

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
研究指導科目	スポーツ健康科学特殊研究 (続き)	<p>(1 藤澤 義彦) 博士論文(スポーツ測定方法論分野)の完成を目的とする演習で、博士論文作成のための個別指導に主眼をおく。個別の研究を総合的に論文として完結できる能力をブラッシュアップし、自立した研究者としての能力の獲得をする。 具体的には、博士論文作成のため、個別の研究を総合的に、論文として完結できる能力をブラッシュアップするための個別指導を中心に行う。そこから、自立した研究者及び、超高度職業人としての能力の獲得をする。</p> <p>(2 井澤 鉄也) 博士論文(スポーツ生化学・分子生物学分野)の完成を目的とする演習で、博士論文作成のための個別指導に主眼をおく。個別の研究を総合的に論文として完結できる能力をブラッシュアップし、自立した研究者としての能力の獲得をする。</p> <p>(3 田附 俊一) 博士論文(スポーツ運動・技術論分野)の完成を目的とする演習で、博士論文作成のための個別指導に主眼をおく。個別の研究を総合的に論文として完結できる能力をブラッシュアップし、自立した研究者としての能力の獲得をする。</p> <p>(4 柳田 昌彦) 博士論文(公衆衛生学・ヘルスプロモーション分野)の完成を目的とする演習で、博士論文作成のための個別指導に主眼をおく。個別の研究を総合的に論文として完結できる能力をブラッシュアップし、自立した研究者としての能力を獲得する。</p> <p>(5 北條 達也) 博士論文(スポーツ医科学分野)の完成を目的とする演習で、博士論文作成のための個別指導に主眼をおく。個別の研究を総合的に論文として完結できる能力をブラッシュアップし、自立した研究者としての能力の獲得をする。</p> <p>(6 藤田 紀昭) 博士論文(アダプテッド・スポーツ分野)の完成を目的とする演習で、博士論文作成のための個別指導に主眼をおく。個別の研究を総合的に論文として完結できる能力をブラッシュアップし、自立した研究者としての能力の獲得をする。</p> <p>(7 福岡 義之) 博士論文(環境生理学・応用生理人類学分野)の完成を目的とする演習で、博士論文作成のための個別指導に主眼をおく。個別の研究を総合的に論文として完結できる能力をブラッシュアップし、自立した研究者としての能力の獲得をする。</p> <p>(8 石井 好二郎) 博士論文(運動処方分野)の完成を目的とする演習で、博士論文作成のための個別指導に主眼をおく。個別の研究を総合的に論文として完結できる能力をブラッシュアップし、自立した研究者としての能力の獲得をする。</p> <p>(9 二宮 浩彰) 博士論文(スポーツ・マネジメント研究分野)の完成を目的とする演習として、博士論文作成のための個別指導に主眼をおく。ここでは、博士論文の研究枠組みを鑑みて論文構成の一貫性について再検討を行い、研究成果の厳密性を高めることを目指す。そのことで、個別の研究を総合的に論文として完結できる能力をブラッシュアップし、自立した研究者としての能力の獲得をする。</p>	

授 業 科 目 の 概 要

(スポーツ健康科学研究科スポーツ健康科学専攻 博士課程(後期課程))

科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
研究 指導 科目	スポーツ健康科学特殊研究 (続き)	<p>(10 石倉 忠夫) 博士論文(スポーツ心理学分野)の完成を目的とする演習で、博士論文作成のための個別指導に主眼をおく。個別の研究を総合的に論文として完結できる能力をブラッシュアップし、自立した研究者としての能力の獲得をする。 具体的には、博士論文作成のため、個別の研究を総合的に、論文として完結できる能力をブラッシュアップするための個別指導を中心に行う。そこから、自立した研究者及び、超高度職業人としての能力の獲得をする。</p> <p>(11 中村 康雄) 博士論文(スポーツ・バイオメカニクス分野)の完成を目的とする演習で、博士論文作成のための個別指導に主眼をおく。個別の研究を総合的に論文として完結できる能力をブラッシュアップし、自立した研究者としての能力の獲得をする。</p>	